

発刊の辞

81 期史 博士（歴史学） 青木 豊

昭和 33 年、樋口清之博士により開講された國學院大學博物館学講座は、その後、加藤有次博士に引き継がれ、本年で 50 年の節目を迎えました。この間、6,500 余人の有資格者を輩出し、我が国の博物館界に占める院友学芸員は他大学と比較して最も多く、社会的にも大きな評価を受けているところであります。

本誌の刊行は、院友学芸員の連絡誌として、またこれから学芸員を志す若者や学生諸君への道標となることを目的とするものであり、今後は 50 周年を記念して年刊誌として発行するものであります。

さて、本学博物館学課程の現状は、考古学専攻生が減じたことや学芸員として就職が困難であることなどと相俟って、受講生は 150 人前後とやや減少して居りますが、一方で、平成 9 年度より設けられました大学院の博物館学専攻への進学者は増加の一途を辿り、現在前・後期合わせて 10 名が在籍、更に来年度は秋季入試でも博士課程前期 5 名、後期 1 名の入学が決定して居ります。また、既に博物館学での博士号の取得者も出て居ります。

就職に関しましては、昨今の博物館等の社会教育機関を取り巻く状況が殊に厳しいことはご承知の通りであります。それでも年間数名の学生が志を遂げて居ります。是非とも諸先輩方の御助力・御協力を、この場を借りて伏してお願い申し上げます。

一方、樋口・加藤両博士が尽力なさった「全国大学博物館学講座協議会」も 50 周年を迎え、記念事業として我が国初の『博物館学文献目録—著者名・内容分類編 2 冊』を刊行して居ります。また、両博士が設立し、会長を務められた「全日本博物館学会」は 30 周年を迎え、記念事業として平成 20 年度刊行予定の『博物館学事典』を編纂するなど、博物館学のインフラ整備にも努めて居りますので御助力の程お願い申し上げます。

末筆ながら、ご多忙の中、玉稿をお寄せ下さった先生方に厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 1 月 22 日



樋口清之博士 博物館実習風景 昭和 48 年頃



加藤有次博士 博物館実習風景 昭和 59 年頃